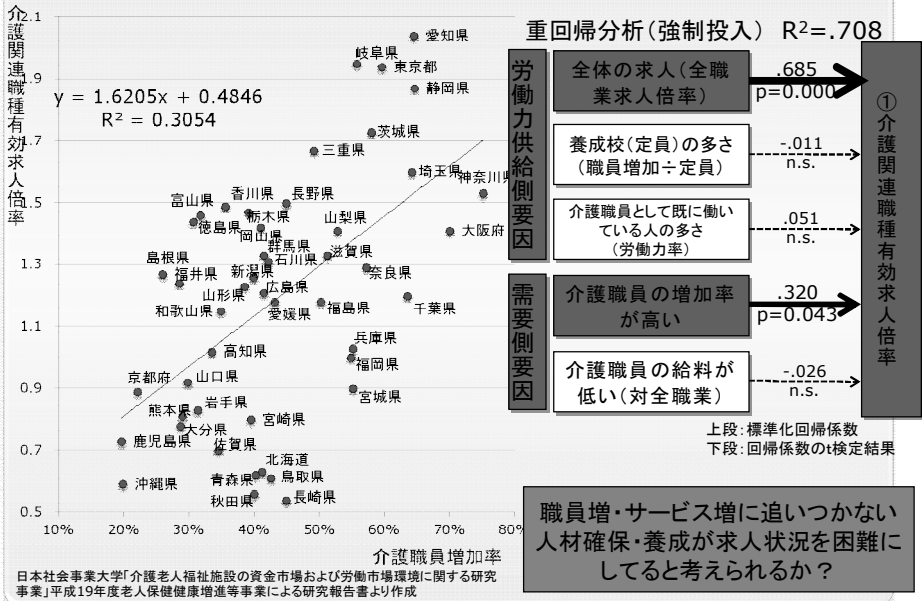


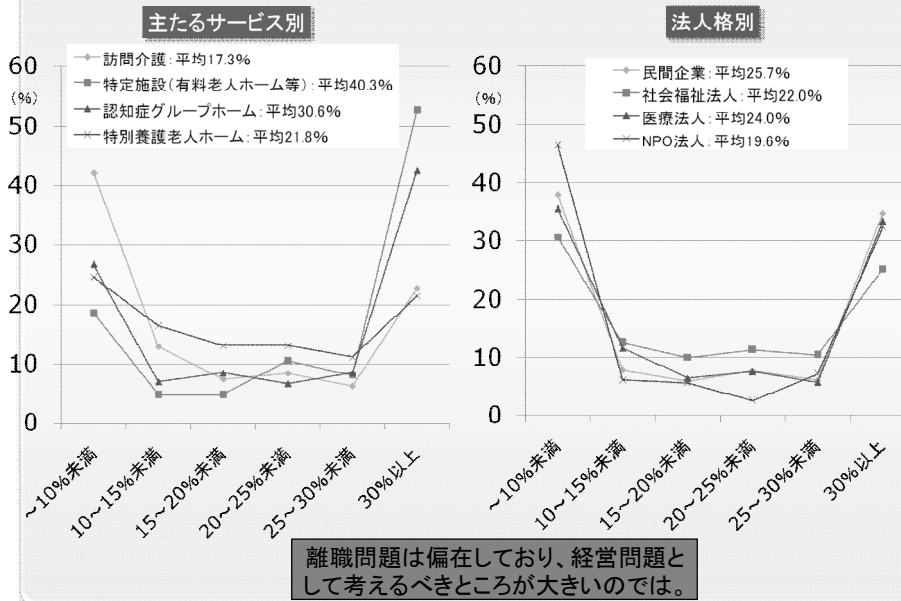
人材問題を中心に
福祉サービスの経営

日本社会事業大学専門職大学院
 藤井賢一郎

都道府県別介護関連求人倍率の相違の背景

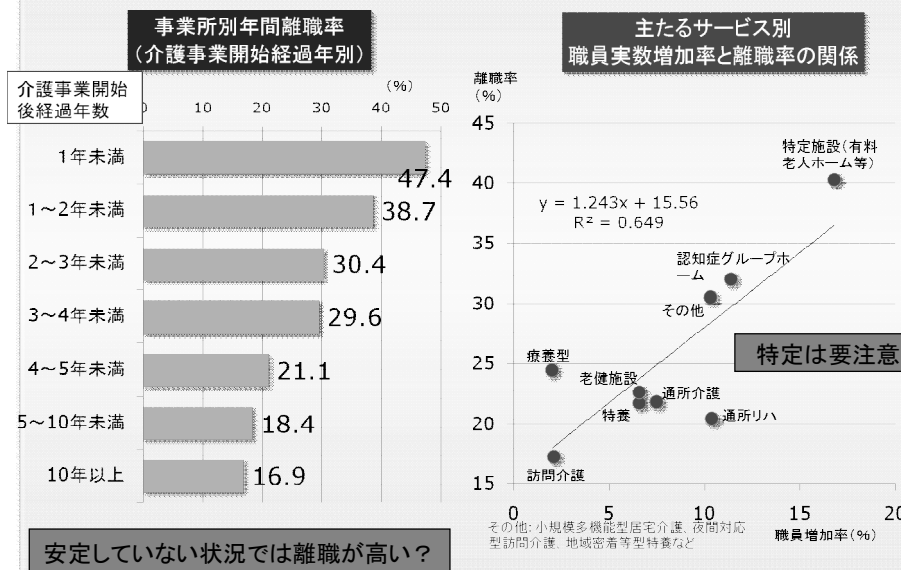


離職率の分布



介護労働安定センター「平成19年度介護労働実態調査」より作図

高離職率の背景



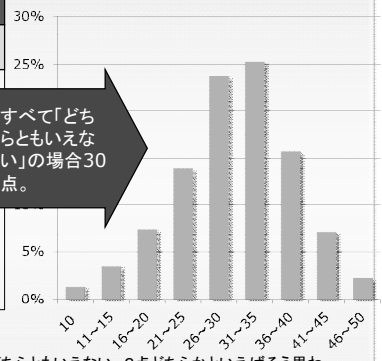
介護労働安定センター「平成19年度介護労働実態調査」より作図

介護職員のキャリアコミットメント (仕事そのものに動機づけられている状態)

介護のキャリアコミットメント得点10項目 ($\alpha = .898$)

職業価値を内面化し仕事それ自体に対して内発的に動機づけられている。

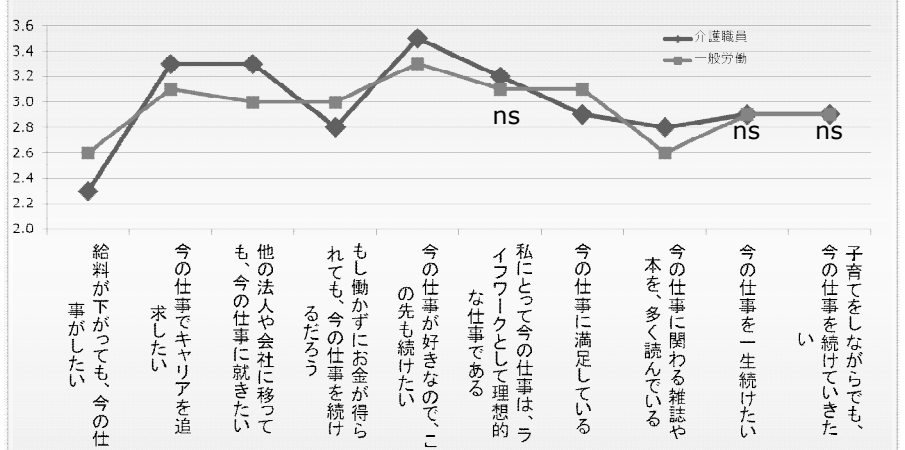
給料が下がっても、介護の仕事がしたい。
介護の仕事でキャリアを追求したい。
他の法人や会社に移っても、介護の仕事に就きたい。
もし働かずにお金が得られても、介護の仕事を続けるだろう。
介護の仕事が好きなので、この先も続けたい。
私にとって介護の仕事は、ライフワークとして理想的な仕事である。
介護の仕事に満足している。
介護の仕事に関わる雑誌や本を、多く読んでいる。
介護の仕事を一生続けたい。
子育てをしながらでも、介護の仕事を続けていきたい。



- 選択肢⇒5点いつもそう思う、4点どちらかといえばそう思う、3点どちらともいえない、2点どちらかといえばそう思わない、1点全然そう思わない
- 2008年11月全国の介護老人福祉施設の介護職員を対象に郵送法によるアンケート調査を実施(n=2992:有効回答率24.9%)

キャリアコミットメントのかなり高い人(40点以上)⇒10%
キャリアコミットメントのかなり低い人が(20点以下)⇒12%

一般労働者と介護労働者とのキャリアコミットメントの差



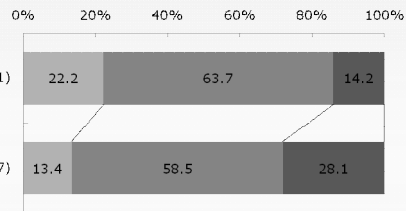
※合計点には差が見られない

【ウェブ調査】介護職員501名(特養123、老健83、グループホーム85、有料ホーム50、通所リハ17名、短期入所生活介護17名)通所介護126。)の調査後、性年齢比率を合わせて抽出した一般労働者537名に調査を実施(平成22年3月実施:委託先株式会社)

勤続意向と幸福感

現勤務先の勤続意向

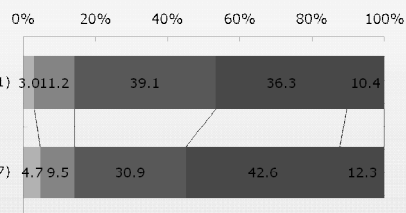
- 今、すぐ(1年以内)にでもやめたい
- しばらく続けたい
- ずっと続けたい



現勤務先を
続けたい介護職員が少
ない

幸福感

- 0~2点
- 3~4点
- 5~6点
- 7~8点
- 9~10点

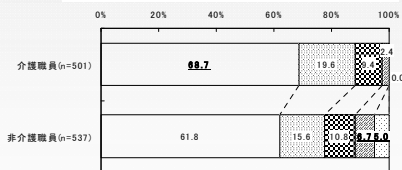


高い人と低い
人が少ない
(平均点の差
はない)

基本属性

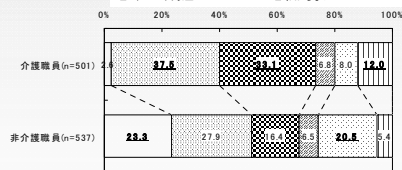
雇用形態

- 常勤社員
- 非常勤社員・パート・アルバイト・フリーター(週20時間以上勤務)
- 非常勤社員・パート・アルバイト・フリーター(週20時間未満勤務)
- 派遣社員
- その他



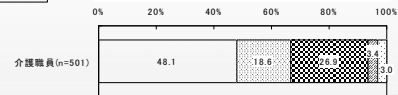
法人全体従業員数

- 10人未満
- 10人以上100人未満
- 100人以上~500人未満
- 500人以上~1,000人未満
- 1,000人以上
- わからない

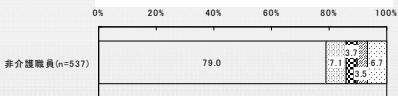


法人種別

- 社会福祉法人
- 医療法人
- 民間企業
- NPO法人
- その他

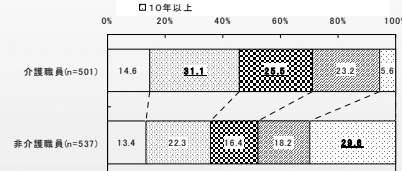


- 民間企業
- 公務員
- 団体
- 非営利法人
- その他



現勤務先勤務年数

- 1年未満
- 1年以上3年未満
- 3年以上5年未満
- 5年以上10年未満
- 10年以上



※太字下線の数値は、介護職員(非介護職員)の比率に対して5%水準でプラスの有意差があることを示している。

